CL-SB-H(J)

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 「温度試験」省略のためのCHECK-LIST | | | | | | | | | | |
| 年　　月　　日 | | | | | | | | | | |
|  | | | | 日本海事協会　　　　　支部 | | | 製造会社名： | | | |
| 代　表　機： | | | |  |  | |  |  | | |
| 製造工場： | | |  | | | | 代表機試験年月日 |  | | |
| 要　　目  □主配電盤  □非常用配電盤  □（充放電盤）  試験成績書No.  （　　　　）  図面No.  （　　　　） | | | 盤構成：発電機盤No.1，　　　，　　　　同期検定盤：有・無  発電機容量：　　　　（kVA / kW）　台数＿＿　定格電圧／電流：＿＿＿（V）／＿＿＿（A）  発電機用遮断器：形式　　　　　　　　　定格　　　　　（製造者　　　　　　　　　）  断路器：定格電圧／電流　　　（V）／　　　（A）　　主要寸法： 　　×　　×　　（mm）  内容積：　　　　（m3）　開口部の面積：　　　　（m2）　　　　発電機盤（同期検定盤を含む）  盤内取付器具（変成器，リレー，抵抗など）の消費電力の合計：　　　　　（W）  発電機盤と同期検定盤の総重量：　　　　　（kg）（給電盤の数は不問） | | | | | | | |
| 規則H編2.5.10により，温度試験等を省略するもの　〔上記の代表機と比較し下記の各項目について〕  （Yes = 1） | | | | | | | | | | |
| 造船所：　　　　　　　　　　　　　　　　　　船　　主：  　　用　途：　　　　　　　　　　　　　　　　　　製造番号： | | | | | | | | | 同じ | ほぼ 同じ |
| 1 | 盤構成：発電機盤の数　　　　　　　同期検定盤：有・無  発電機容量×台数　　　　（kVA / kW）×　　　定格電圧／電流＿＿＿（V）／＿＿＿（A） | | | | | | | | **□** |  |
| 2 | 発電機用遮断器：形式　　　　　定格　　　　（製造者　　　　　　　　　）  断路器：定格電圧／電流：　　　（V）／　　　（A） | | | | | | | | **□** |  |
| 3 | 主要寸法： 　　×　　×　　（mm）内容積：　　　　（m3）　開口部の面積：　　　　（m2）通風方法： | | | | | | | | □ | □ |
| 4 | 母線及び接続導体の寸法，配置，接続部の構造･･････････････････････････････････････････ | | | | | | | | □ | □ |
| 母線及び接続導体の負荷電流･･････････････････････････････････････････････････････････ | | | | | | | | □ | □ |
| 端子（操作回路，計器回路の端子を除く）の構造及び配置････････････････････････････････ | | | | | | | | □ | □ |
| 5 | 盤内取付器具（変成器，リレー，抵抗，整流器など）の配置･･････････････････････････････････ | | | | | | | | □ | □ |
| それらの消費電力の合計　　　　　（W）･･･････････････････････････････････････････････ | | | | | | | | □ | □ |
| 6 | 外注品の使用に際しては，受入検査基準により管理されている ････････････････････････････ | | | | | | | | **□** |  |
| 製品工程における主要な作業基準，設備，作業者の技量は，従前どおり又は改良されている ････ | | | | | | | | **□** |  |
| 試験及び検査の設備，要領，判定基準などは十分な管理のもとにある ･･････････････････････ | | | | | | | | **□** |  |
|  | | 上記の通り，今回受検する　　　　　は，標記の代表機と同一製造工場で，同じ方法により製造された同一形式のものであることを証明します。 | | | | | | |  | |
|  | |  | | |  |  | | | | |
|  | |  | | |  | 試験・検査責任者： | | | | |